



# 市長と

# 車座トーク

## 第27回 大津野学区（概要）



- 開催日時 2017年(平成29年) 7月18日(火)  
19:30~20:30
- 開催場所 大門公民館
- 参加者数 11人
- 次第 市長のあいさつ  
意見交換  
地域からのまとめとあいさつ



### ＜車座トークでの主なご意見＞

- ・学区の防犯灯は、市が設置費用と電気代を負担し、学区が器具の更新費用として一基当たり8,000円を負担することになっている。学区内の防犯灯約700灯を更新するためには大きな金額が必要となるため、更新費用に対する市の補助の検討をお願いしたい。学区自治連としての積立とは別に、単位自治会（町内会）へも積み立てるように提案しているが、積み立てるにも限度があり、費用の工面を思案している。
- ・6月初旬に福山でトライアスロン大会が開催され、盛り上がった。福山には、平成3年から4年間、芦田川の漕艇場で「市民レガッタ」として、福山市内の企業・大学・高校生のクルー以外に他県からも有名な選手が参加し、盛大に開催された歴史がある。並行して、「福山市筏レース」として、企業や地域の団体が手作りの筏で競いあっていたが4年間で急に終わった感がある。再び開催してはどうかと思うのだが、当時止めた経緯や事情があればお聞かせ願いたい。
- ・大津野学区は公民館・ふれあいプラザ・コミュニティ施設の各施設が離れており、公民館は高

台にある。各施設の機能を統合した地域交流館という施設が出来るようだが、高齢者も多くいるので、交流館は利用しやすいように平地に出来たらと思う。

- ・敬老会対象者が増える中で、所在不明者が多くなっている。近隣のコミュニケーションが不足しており、今後も施設入所先や転居先がわからないという事例が増加するものと見込まれる。入居者に住所変更をするように施設から促すことを、行政が働き掛けてもらいたい。また、施設から転居した人については、転居先を教えてもらえないこともある。個人情報保護の観点もあるが、不明者を減らせるように検討してもらいたい。
- ・6月14日にネウボラの取組として、相談員が配置され「あのね」がスタートした。これから子育てをする親にとっては、困った時にそこへ行けば子育ての相談ができるという窓口ができたことは、とてもよいことだと思う。これまでも子育てサークルを立ち上げたり、キラキラサポーターなどが地域で子育てを支援したりするなど、様々な取組をしてきた。地域のボランティアの頑張りも知ってもらいたい。
- ・公園への時計の設置・維持管理をお願いしたい。子どもが遅くまで遊んでおり、自ら時間を意識し、帰宅できるようになれば安心安全につながる。子ども達が楽しく一緒に遊べる環境も大事にしていきたい。
- ・小学校の大型プリンターが故障し資料が印刷できなくなったが、予算不足で修理できないことがあった。先生も大変だが子どもが困るので、必要な予算対応をしてもらいたい。
- ・子どもの自主性を養う活動に取り組む中で、教育の一番は家庭と思うが、学校・自治体の役割も大きい。小学校の時にクラス担任が筏レースに出ようと発案し、子ども達で筏を作り出場した。このように個性的な教育ができる教育者を養成するようお願いしたい。
- ・まちづくり計画の一環で、大門駅前に地域の案内板を設置する予定。大門には5,000年前の貝塚などがあり、ガイドマップを作成し町内会員に配布した。大門駅の乗降客は1日5,000人もあり、学生も多いので、若者に地域の歴史を知ってもらいたい。
- ・子どもと地域を結び付ける取組として、町内の清掃活動を行っており、学区自治連からの支援をもらっている。福山市は中核市の中で0歳から14歳の人口が一番多い。中核市の平均が13%であるのに対して福山市では18%もある。子育て世代や祖父母世代も巻き込んでの活動を応援してもらえる助成金や仕組みを作ってもらいたい。
- ・民生委員として一人暮らし高齢者などの見守りをしている。訪問し、話を聞き、寄り添いながら見守りをしているが、家族の連絡先を教えてもらえないことがある。また、65歳から74歳の方は対象者台帳がないため把握が難しい。把握できれば見守り活動がしやすくなる。
- ・3年に1度、民生委員の改選期を迎えるが、市全体では欠員になる所もある。民生委員は自分の住む町以外も担当するため、後任者を探すのが難しい。
- ・コンベンション誘致は高い経済効果があり、市の競争力・ブランド力を高める大きな意味がある。2022年の「世界ばら会連合地域大会」の開催地内定、2020年の「国連犯罪防止刑事司法会議」への立候補など、今までにない取組は評価できる。一方、福山市のコンベンションに係るインフラは不十分。都市の持つインフラ、魅力度、地元の熱意がコンベンション決定の3要素となる。一番大事なインフラ整備を駅前再生ビジョンの策定に当たり検討し、施設の整備をお願いしたい。

## <市長のまとめ>

- ・2010年にLED照明を設置したときに、地域との役割分担を行ったが、更新費用の負担等について、将来を見据えた具体的な議論が出来ていなかったのでは。互いの反省点だろう。地域で積立をしていただいているが、防犯灯の多い学区は負担が重くなるので、負担軽減に繋がることができるか考えさせてほしい。ただし、全部市役所が負担することにはならない。
- ・「市民レガッタ大会」は現在も行われている。「筏レース」を止めた時の経緯であれば、調べてお答えしたい。「市民レガッタ大会」を発展させるためにご意見があれば伺いたい。
- ・交流館については、水呑で第1号を来年3月に開館予定。公民館・コミュニティセンター・ふれあいプラザの機能を集約する。人口減少の時代に多数の施設を構えると維持費もかかり非効率になるので、順次統合していきたい。
- ・水呑の次はどこかという議論ができていない。考え方や順番などの全体計画を作ってお示ししたい。大門公民館は築39年になる。皆さんで高台にある不便さを補いながら利用していただきたい。交流館は、便利で使い勝手が良い場所に作る必要がある。住民の皆さんの意見を聞きながら立地場所を考えていきたい。
- ・高齢者が地域の何処へいるのか。特に一人暮らしの方が心配だ。日頃の見守り活動の中で、家族の連絡先を確認する努力をお願いしたい。個人情報に配慮しながら、介護施設や病院から情報をもらえるかは検討課題にさせていただく。関係者の協力も必要なので、地域と両面で高齢者の所在確認が出来ればと思う。
- ・今後、ネウボラが福山市の子育て施策の中心になるが、行政の力だけでは進まない。相談員になれる資格を持つ人材の確保が難しく19名でスタートした。相談員だけでは出来ない部分を地域でカバーしていただきたい。連携の在り方を地域と相談しながらやっていきたい。
- ・公園を確保できず遊び場がないという地域がある。遊休地を探してもらい「子ども広場」という名前で遊び場を確保している。
- ・公園に時計を設置するほかに、地域の方が当番を決めて広場へ行き、子ども達の見守りと併せて声掛けをすれば、子どもと接する機会が持ててよいと思う。時計の設置については要望書を出していただきたい。
- ・全国的に学校備品の維持・補修・買換えにPTAが協力する事例はあるが、本来の姿ではない。全てに問題なく対応出来る予算は措置されていない。できるだけ予算を確保し、学校教育現場に支障が出ないように考えていきたい。
- ・これからの時代をたくましく生きていける子どもを育てるには、教室内だけでなく、教室外の教育が重要と考える。また、保護者の理解や教師との信頼関係も必要で、それに応える教師を育てることも必要だと思う。
- ・子ども会の加入率も気になる。高見台の子ども会加入率は100%、その秘訣を聞いているので、改めて伝える。
- ・PTA活動が活発に行われないと、学校との連携や互いの信頼関係ができない。最近ではPTA役員のなり手がいないとの話がある。「役員はしたくないが、教育はしてもらわないと困る。」ということでは地域の教育力は高まらない。学区をあげてPTA活動に参加してもらえるようにしていただきたい。

- ・地域の誇りや歴史を再認識するのはとても良いことだ。これからも続けていただきたい。
- ・地域活動を支援する取組として、例えば「まちづくりパスポート」がある。子ども達と清掃などのボランティア活動をする際は、事前に市へ申請し、対象事業として認められたら参加者にポイントシールを付与する。ポイントが貯まると、ばら苗・図書カード・映画券・公共施設の入場券などと交換できる仕組みになっている。
- ・「まちづくりパスポート」は、協働のまちづくり課や支所の地域振興課で取り扱っている。子どもだけでなく、子育てをする大人も対象になる。できるだけ多くの人にポイントを貯めて利用して欲しい。子どもの地域活動・美化活動に取り組んでいる学区のリストをお渡しするので参考にしたい。
- ・民生委員一人で何人もの高齢者を見守るのは大変なこと。孤独死や突然死への有効な手立てがなく、負担をかけている。まずは、75歳以上の方を住民基本台帳から作成した巡回相談事業の対象者台帳をもとに見守っていただき、関係機関との連携の中で効果的な見守りにつながる情報提供をするなどカバーしたい。また、地域の皆さんも知っている情報があれば、民生委員へ伝えて欲しい。
- ・コンベンション誘致の3要素のうち、都市の魅力度と地元のキーパーソンの熱意は負けないが、器としてのコンベンション施設が不足している。新しいコンベンション施設を造れば、市民の皆さんに負担をかける。2年後に新総合体育館が完成する。必要時には、工夫してそこをコンベンション施設として使っていくのは十分可能。コンベンション誘致の武器にしていきたい。これからは国際都市をめざしていかないといけない。国内の知名度を飛び越えて、海外かと言われるかもしれないが、徹底的に国内外に情報発信していく。福山は元気に頑張っている。次はどのような国際会議が誘致されるか楽しみに待っていて欲しい。誘致して欲しい会議があれば教えていただきたい。

## <地域からのあいさつ>

今日は、大変ご多忙な中、市長にお越しいただき、実りのある時間を過ごせたと思っています。私たちは、まちづくり推進事業に学区としてどのように取り組んで行くのか、原点に立ち返って考えていきたい。住んでよかった、これからも住み続けたい、このような町になるべく、学区の皆さんと努力していきたいと思います。

今日は、市長と膝詰めで、生の声をきかせていただきました。心より感謝申し上げます。

引き続き、まちづくり推進事業を学区の皆さんとともに頑張っていきたいと思います。